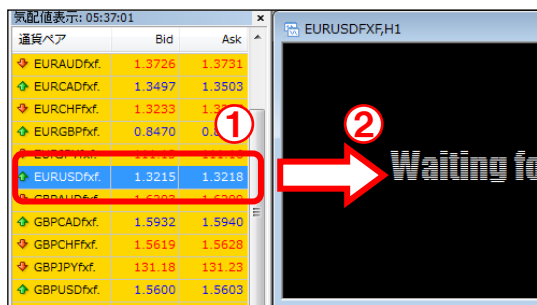


第3章 為替の動向を予想・分析する

通貨ペアのチャートを表示する

チャートの通貨ペアを変更する

まずは、動向を知りたい為替銘柄(通貨ペア)を、次の操作でチャートに表示しましょう。画面に「Waiting for update」または「アップデート待機中」と表示されているときは、次の操作で解消できます。



- ① [気配値表示] のなかから表示する通貨ペアを選んでクリック

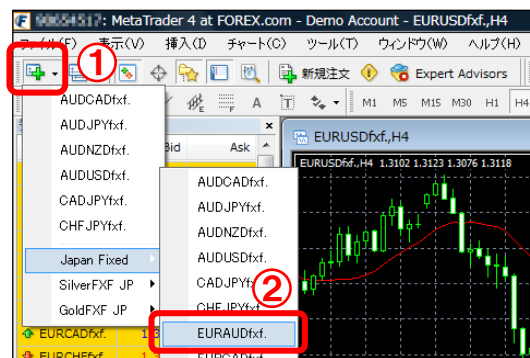
(マウスのボタンを押したまま…)

- ② 表示を変更したいチャートのウィンドウに、選んだ通貨ペアをドラッグ

(マウスのボタンを離す)
ドラッグ先のチャートが、選んだ通貨ペアに変化します。

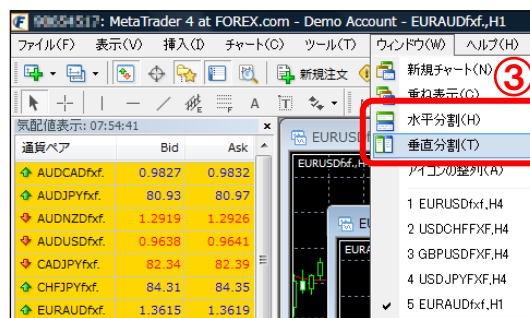


チャートを増やす



- ① ツールバーの [New Chart] をクリック
メニューが表示されます。

- ② 表示したい通貨ペアをクリック
選んだ通貨ペアのチャートが新しいウィンドウに表示されます。



- ③ ウィンドウメニューの [水平分割] または [垂直分割] をクリック
すべてのチャートのウィンドウが整列します。

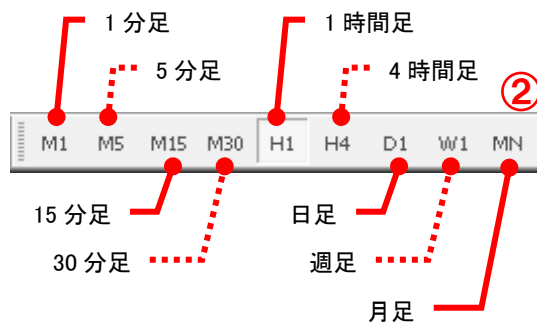
チャートを減らすとき

削除したいチャートの右上の [×] ボタンをクリックします。

チャートから為替の動向を予想する

チャートの表示方法を変更する

表示したばかりのチャートは、1時間足のバーチャートです。これを、取引の目的に応じた表示方法に変更しましょう。



③ 左から、バーチャート、
ロウソク足、ラインチャート



④ 左から、
ズーム・イン、
ズーム・アウト

① 表示を変更するチャートを
クリック

② ツールバーの周期設定ボ
タンをクリック

選んだ周期(1分足、1時間足、
日足など)にチャートの表示が
変化します。

③ チャートの種類ボタンをク
リック

チャートの表示が変化します。

④ ズームボタンをクリック

ロウソク足のチャートがバ
ーチャートに見えるときは、
🔍 をクリックします。

🔍 では、チャートの表示期
間が減ります。

🔍 では、チャートの表示期
間が増えます。

チャートの表示が変化します。



⑤

⑤ を何度かクリック

ウィンドウの右端にチャートの
右端が合うよう、チャートが移
動します。

一目均衡表の先行スパンを
見るときなどに、押した状態
(ON)にして、未来の状態を
表示します。

マウスでウィンドウ内を左右
にドラッグしても、チャートを
移動できます。



⑥

⑥ が押した状態(ON)で
あることを確認

時間と共に、チャートが自動的
に左に移動します。

過去のレートを見るときなど、
自動的に移動させたくない
場合は、押していない状態
(OFF)にします。

チャートに出来高を表示したいとき

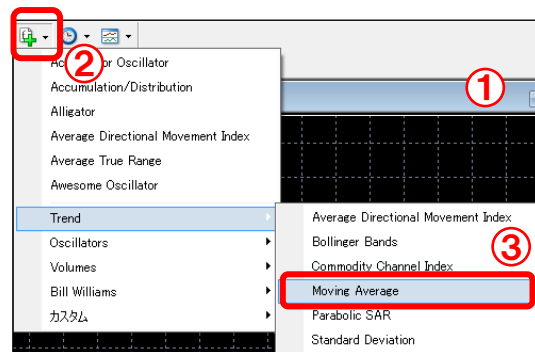
チャートメニューの[出来高]をクリックします。


チャートから為替の動向を予想する

テクニカルインディケーターを使う [罫線分析ツール]

為替の動向を予想するには、テクニカルインディケーター(罫線分析ツール)が役立ちます。MetaTrader 4にはさまざまなテクニカルインディケーターが備わっています。目的と状況に応じて使い分けましょう。

ここでは、基本的なテクニカルインディケーターであるMoving Average(移動平均線)を例に、テクニカルインディケーターの基礎的な使い方を説明します。



- ① **チャートをクリック**
- ② ツールバーの  をクリック
メニューが表示されます。
- ③ [Trend] サブメニューの [Moving Average] をクリック
Moving Averageのパラメーター設定画面が表示されます。
- ④ **パラメーターを設定**
 ここでは、単純移動平均線を表示することにします。
[移動平均の種類]で [Simple]を選択し、
[適用価格]で[Close](終値)を選択します。
- ⑤ **[OK] をクリック**
チャートに単純移動平均線が表示されます。



●SMA(単純移動平均線)とは

過去の一定期間のレートの平均値を示すものです。為替動向のトレンド(上昇/下落)を予想できます。

その他の操作方法

挿入メニューの[罫線分析ツール]をクリックし、[Moving Average]をクリックします。または、[ナビゲーター]の[罫線分析ツール]を開き、[Moving Average]をクリックします。

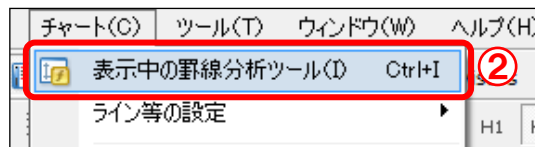
表示するテクニカルインディケーターを増やすとき

テクニカルインディケーターを追加するときは、手順①～⑤を繰り返します。区別のため、手順④で線の色を変えることをおすすめします。同じ種類のテクニカルインディケーターを複数表示することもできます。例えば、手順④で[期間]の値を変更すると、異なる曲線の単純移動平均線を追加できます。

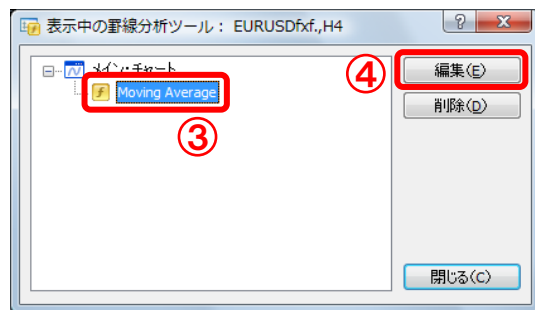
チャートから為替の動向を予想する

パラメーターを変更する

ここでは、Moving Averageの変更を例に説明します。



- ① チャートをクリック
- ② チャートメニューの [表示中の罫線分析ツール] をクリック
[表示中の罫線分析ツール]画面が表示されます。



- ③ [Moving Average] をクリック
- ④ [編集] をクリック
Moving Averageのパラメーター設定画面が表示されます。



- ⑤ パラメーターを変更
 ここでは、指数移動平均線に変更することになります。
[移動平均の種類]で [Exponential]を選択します。
- ⑥ [OK] をクリック



⑦ [閉じる] をクリック

チャートのMoving Averageが指数移動平均線に変化します。

●EMA(指数移動平均線)とは

過去の値動きを考慮し、直近の値動きを多く反映するよう調整されている移動平均線です。SMAよりも、値動きに沿った動きとなるため、よりトレンドを把握しやすくなります。

テクニカルインディケーターを削除するとき

[表示中の罫線分析ツール]画面(手順③)でテクニカルインディケーター(左図では [Moving Average])を選択し、[削除]をクリックします。

必要なテクニカルインディケーターがないとき

MetaTrader 4では、カスタムインディケーターを追加して利用できます。

→ 第4章 P.45

チャートをカスタマイズして分析する

チャートをカスタマイズすることで、より自分に合った分析ができます。
ここでは、トレンドラインなどの分析ツールの追加方法などを説明します。

トレンドライン／等距離幅チャンネルを引く

チャートにトレンドラインや等距離幅チャンネルなどを引き、レートの上昇・下落を予想できます。ここでは、等距離幅チャンネルの引き方を例に説明します。

●トレンドラインとは

トレンドラインとは、

- ・ 上昇トレンドの場合： 安値と安値を結んだ線
- ・ 下落トレンドの場合： 高値と高値を結んだ線

のことで、

上昇トレンドラインを割り込んでレートが下落した場合、上昇トレンドの終了や上昇力の低下を示します。

下降トレンドラインを割り込んでレートが上昇した場合、下落トレンドの終了や下落の勢いの低下を示します。

●等距離幅チャンネルとは

相場はある一定のリズムを持って上昇と下落を繰り返すことが多く、平行な2本のラインを引くことで、上昇と下落の一定のリズムを把握しやすくなります。

等距離幅チャンネルを引く



トレンドラインの
とき

① ツールバーのをクリック

マウスポインターが等距離幅チャンネルのアイコンに変わります。



② 線の始点を決めてクリック (マウスのボタンを押したまま…)

2本の平行線が表示されます。

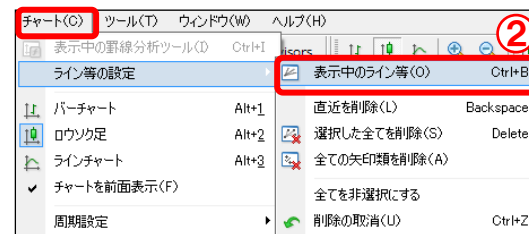
③ 線の終点までマウスをドラッグ (マウスのボタンを離す)

平行線の傾きが変化します。

等距離幅チャンネルを増やすとき

手順①から手順③を繰り返します。

等距離幅チャンネルを調整する

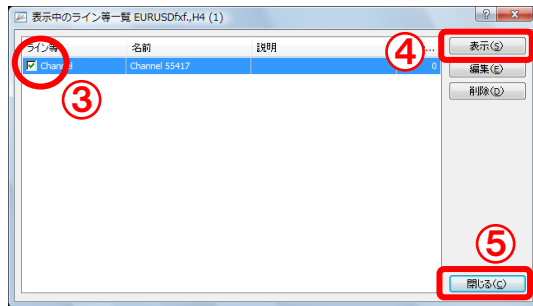


① チャートをクリック

② チャートメニューの[表示中のライン等]をクリック

[表示中のライン等一覧]画面が表示されます。

チャートをカスタマイズして分析する



③ ライン名にチェック(✓)を入れる

④ [表示] をクリック

⑤ [閉じる] をクリック

チャートの平行線に白い点が表示されます。



⑥ 白い点をマウスでドラッグ
線が移動します。

調整が終わったら、手順③の画面でチェック(✓)を消します。平行線から白い点が消えます。

手順③の画面で[編集]をクリックして調整することもできます。

等距離幅チャンネルを削除するとき

[表示中のライン等一覧]画面(手順③)でライン名を選択し、[削除]をクリックします。

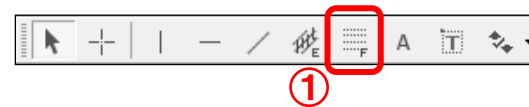
フィボナッチリトレースメントを引く

トレンドラインや等距離幅チャンネルだけではなく、その他の様々なラインをチャート上に引くことができます。

ここでは、フィボナッチリトレースメントの引き方を例に説明します。

●フィボナッチリトレースメントとは

フィボナッチリトレースメントとは、フィボナッチ数間の比(0.236、0.382、0.5、0.618)を用いて目標レートを推測する方法で、相場の戻りや押し目を判断するのに役立ちます。例えば、ある変動幅において、高値から、78.6%、61.8%、50%、38.2%、23.6%のところにラインを引き、押し目買いや戻り売りを行う際のレートを判断します。



① ツールバーの [F] をクリック

マウスポインターがフィボナッチリトレースメントのアイコンに変わります。



② 始点(変動幅の高値または安値の位置)を決めてクリック
(マウスのボタンを押したまま…)

③ 終点(変動幅の高値または安値の位置)までマウスをドラッグ
(マウスのボタンを離す)

フィボナッチリトレースメントが引かれます。

フィボナッチリトレースメントを調整または削除するとき

等距離幅チャンネルと同じ操作で、調整または削除できます。

→P.29

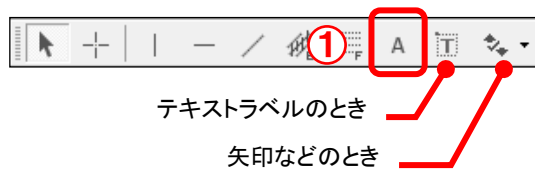
チャートをカスタマイズして分析する

テキストや矢印などを挿入する

チャート上にテキストや矢印などを挿入し、チャートをカスタマイズできます。

- ❑ MetaTrader 4でチャートに挿入できるテキストには、「テキスト」と「テキストラベル」の2つがあります。「テキスト」はチャートの日付に連動します。チャートがスクロールすると、テキストも一緒にスクロールします。「テキストラベル」はチャートの背景に貼り付きます。チャートがスクロールしても、テキストは動きません。
- ❑ 日本語のテキストを入力するときは、日本語フォントを指定してください。ただし、一部の画面で入力したテキストが正しく表示されないことがあります。

ここでは、テキストを挿入する場合を例に説明します。

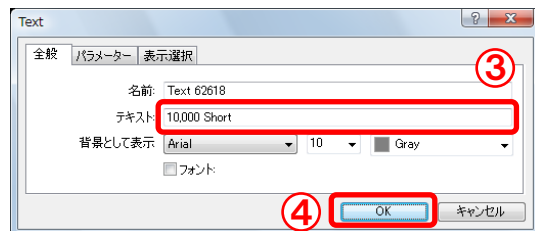


① ツールバーの **A** をクリック

マウスポインターがabcに変わります。

② テキストを配置する位置を決めてクリック

[Text]画面が表示されます。



③ [テキスト] 欄に、テキストを入力

④ [OK] をクリック

テキストが挿入されます。



テキストや矢印などを調整または削除するとき

等距離幅チャンネルと同じ操作で、調整または削除できます。

→P.29

チャートの状態を保存する

MetaTrader 4では、チャートの組み合わせや、チャートの表示設定を保存しておくことができます。

チャートの組み合わせに名前を付けて切り替える [組表示]

MetaTrader 4では、複数のチャートを同時に表示できます。しかし、次のように、状況に応じて表示するチャートを制限したいときがあります。

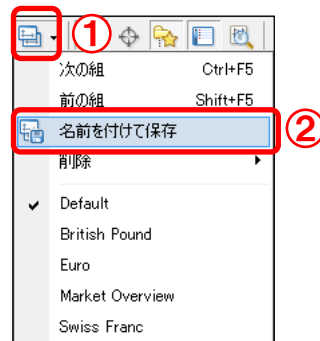
- ドル相場に関するチャートだけを表示したいとき
- ユーロ相場に関するチャートだけを表示したいとき


このような場合、それぞれのチャートの組み合わせ(チャートの組表示)に名前を付けて保存しておくくと便利です。(例:USDチャート、EURチャート)

簡単な操作で、表示するチャートの組み合わせを切り替えることができます。

チャートの組み合わせを保存する

まず、現在のチャートの組み合わせを、名前を付けて保存します。

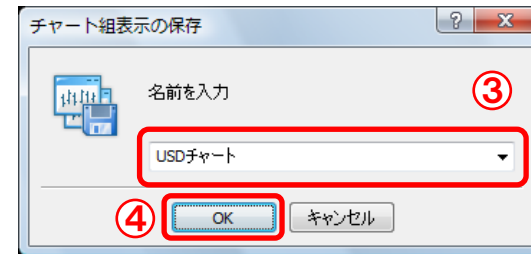


- ① ツールバーの  をクリック

メニューが表示されます。


- ② [名前を付けて保存] をクリック


[チャート組表示の保存]画面が表示されます。



- ③ チャートの組み合わせの名前を入力

- ④ [OK] をクリック

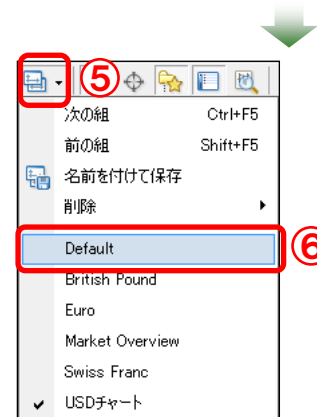
チャートの組み合わせが保存され、ツールバーの  のメニューに登録されます。

- ⑤ ツールバーの  をクリック

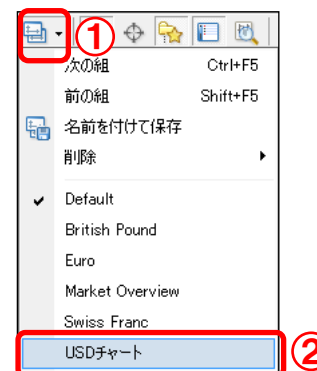
メニューが表示されます。


- ⑥ [Default] をクリック

以後、チャートの数や種類を変更しても、手順④で保存したチャートの組み合わせには影響しません。



チャートの組み合わせを切り替える



- ① ツールバーの  をクリック

メニューが表示されます。

- ② 以前に保存した名前をクリック

以前に保存したときのチャートの組み合わせが表示されます。

チャートの状態を保存する

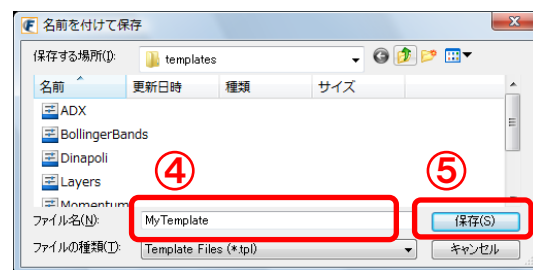
チャートの表示設定を別のチャートに適用する [定型]


チャートの表示設定をテンプレート(定型)として保存すると、別のチャートに簡単に適用できます。複数のチャートを同じ表示設定で統一したいときなどに便利です。


- チャートの周期設定(日足など)や種類(ロウソク足など)、表示しているテクニカルインディケーターの種類や設定を、一括して保存できます。

チャートの表示設定を定型として保存する

まず、定型するチャートを選び、その表示設定に名前を付けて保存します。

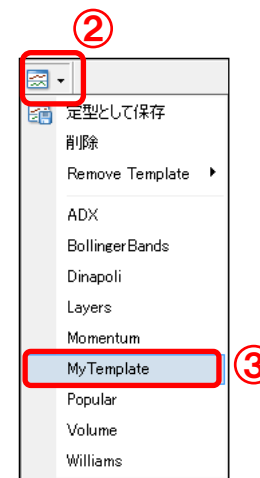



- ① チャートをクリック
- ② ツールバーの  をクリック
- ③ [定型として保存] をクリック
[名前を付けて保存]画面が表示されます。
- ④ [ファイル名] 欄に表示設定の名前を、半角の英数字で入力
 日本語はMetaTrader 4で正
常に表示されません。
- ⑤ [保存] をクリック

表示設定が保存され、ツールバーの  メニューに登録されます。

チャートの表示設定を適用する

次に、任意のチャートを選んで、保存済みの表示設定を適用します。



- ① チャートをクリック
- ② ツールバーの  をクリック
メニューが表示されます。
- ③ 以前に保存した名前をクリック
以前に保存した表示設定が、
選択したチャートに適用されま
す。

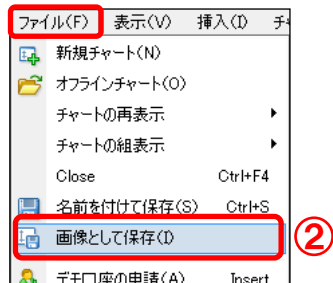
チャートの内容をほかのソフトで使う

チャートの内容をほかのソフトで使う場合、画像として利用するか、データとして利用するかを選ぶことができます。

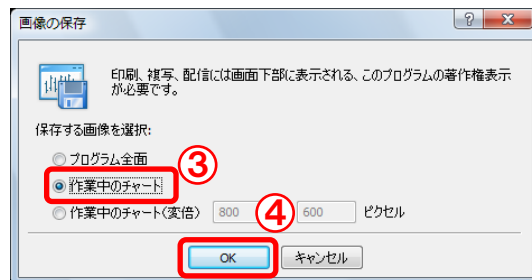
チャートを画像として保存する

チャートのウィンドウの内容を、BMP画像またはGIF画像として保存できます。自身のホームページやブログにチャートを掲載する際などに便利です。

- ウィンドウに収まらずスクロールしないと表示されない部分は、画像として保存されません。保存する前に、ウィンドウの大きさや拡大率を調整してください。



- 1 チャートをクリック
- 2 ファイルメニューの[画像として保存]をクリック
[画像の保存]画面が表示されます。



- 3 [作業中のチャート]をクリック
 [プログラム全面]は、MetaTrader 4の画面全体を保存するときに選びます。
 [作業中のチャート(変倍)]は、画像の大きさを指定したいときに選びます。
- 4 [OK]をクリック
[名前を付けて保存]画面が表示されます。



- 5 保存先を選択
- 6 ファイル名を入力
- 7 ファイルの種類を選択
- 8 [保存]をクリック

チャートが画像として保存され、ファイルの種類に応じたアプリケーションで表示されます。



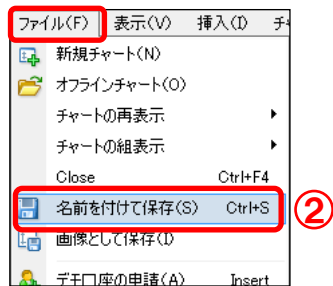
チャートの内容をほかのソフトで使う

チャートをデータとして保存する

チャートの内容を、CSV形式、テキスト形式またはHTML形式で保存できます。

表計算ソフトやデータベースソフトで扱うときは、CSV形式が適しています。

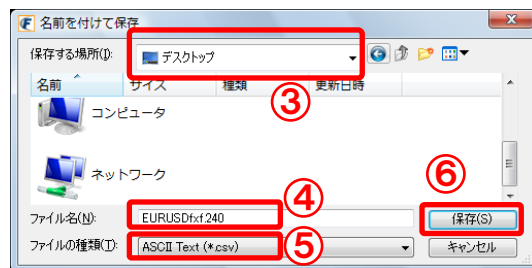
- スクロールすると表示される部分は、すべてデータとして保存されます。
- テクニカルインディケーターの表示や、チャートに記入した線や矢印などは、データとして保存されません。



① チャートをクリック

② ファイルメニューの [名前を付けて保存] をクリック

[名前を付けて保存]画面が表示されます。



③ 保存先を選択

④ ファイル名を入力

⑤ ファイルの種類を選択

⑥ [保存] をクリック

チャートがデータとして保存されます。